

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立気仙沼小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒988-0073
宮城県気仙沼市笹が陣3番1号

E-mail : _____

Website : _____

児童生徒数：男子 213名 女子 170名 合計 383名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

- (1) 年間の主な取組
 3年 命をはぐくむ大川

(地域・環境)

- 1 大川の位置を確かめる。
- 2 鮭の生態・大川の特徴についての講話を聞く。
 - 気仙沼市水産課の方から
 - 大川漁業共同組合の方から
- 3 大川の魚について調べて発表する。
- 4 鮭の放流活動（3月実施予定）

4年 大川の恵み

(地域・環境)

- 1 大川に生きる動植物を調べる。
- 2 森（山）と川や海のつながりを探る。
- 3 「大川桜並木保存会」の方と交流する。
 - 桜並木への追肥体験
 - 歴史や今後の計画についての講話
- 4 調べて分かったことや感じたことを発表する。

5年 野外へ出かけよう

(地域・環境)

- 1 栗駒山とブナ林、川から海へのつながりを調べる。
- 2 登山やブナ林散策などを通して実際に体験する。
- 3 調べて体験したことを学習発表会で発表する。

6年 オリジナル気仙沼弁当を作ろう

(地域・環境)

- 1 未来に残したい気仙沼の食材を探す。
- 2 決定した食材を使った料理を考える。
- 3 オリジナル弁当を作る。
- 4 食材を育む気仙沼の自然環境について考える。

(2) 実践の成果

①プログラムや活動の改善の視点から

○4年間の指導計画の中に「地域・環境」の柱を設けたことで、学年の系統性が見えるようになった。

○調べて理解し、自分の考えをもってから体験学習に取り組むという学習の流れができた。

②児童生徒の変容（資質・能力・態度）の視点から

○地域の環境（大川の源流や栗駒山）や地域の人々（大川桜並木保存会などのゲストティーチャーの方々）と関わる体験活動を通して、進んで課題をもち解決しようとする態度が身に付いてきた。

○体験活動により、地域について深く考えさせることができ、地域を愛し守ろうとする心情を育むことができた。

○追究活動が深まり、調べたり考えたりしたことを積極的に他者に伝え

ようとする児童の態度が見られた。

③教師や保護者，地域住民の意識の変容の視点から

○6年生はこれまでの学習でお世話になってきた地域の方に，自分たちで作った弁当を届けた。地域の食材とその食材を大切にしようとする思いを共有することができた。

(3) 次年度に向けた課題

●震災により，地域との連携が難しい面がある。見学可能な施設や地域人材を年間計画に記入し，子どもたちに生きた学習を提供していくようにしたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）